

下水道管の老朽化に対して総合的な支援を求める意見書について

下水道管の老朽化に対して総合的な支援を求めることに関して、別紙のとおり意見書案を提出する。

令和7年3月21日

旭川市議会
議長 福 居 秀 雄 様

提出者 旭川市議会議員

中 村 みなこ

まじま 隆 英

石 川 厚 子

能登谷 繁

下水道管の老朽化に対して総合的な支援を求める意見書

埼玉県八潮市で大規模な道路陥没事故が起きた。周辺住民が一時避難を余儀なくされるなど、極めて深刻な事態を招いた。

今回の破損の原因は下水道管の腐食によるものであり、危険度が高い管路は全国に少なくとも約3,400キロメートルある。自治体は点検・修繕を急いでいるが、陥没事故は後を絶たない状況にある。

国土交通省によると、道路陥没は2022年度だけでも全国で10,548件発生している。このうち下水道設備に起因するものは13パーセントに上り、八潮市の今回の事故と同様の原因が多数と言われている。下水道管の耐用年数は一般的に50年であるが、2042年度には全国の総延長の40パーセントが設置から50年を超えるとの試算もある。

自治体の上下水道事業は独立採算制が原則で、国の補助制度を受けるには、水道料金を値上げするなどの条件が伴う。それが耐震化や老朽化対策などの妨げになっている面が大きい。

よって、国においては、国民の生命を守るため、下水道管の老朽化に対して総合的な支援を行うよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

旭 川 市 議 会